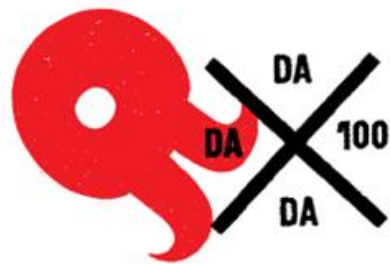




報道発表

東京 2016年4月28日



ダダイズム 100 周年 – 都内開催フェスティバル

ダダイズムは 100 年前、様々な国籍のアーティストにより生まれた、グローバルなアート・ムーブメントです。

チューリヒのキャバレー・ヴォルテールから世界に広がったダダイズムは、世界中のアーティスト、パフォーマー、デザイナー、インスピレーションの源を担ってきました。

このユニークなムーブメントをたたえるべく、この夏、主に都内の文化機関およびアートスペースにおいて、さまざまなパフォーマンス、展示、活動が行われます。

本フェスティバル開催にあたり、記者発表会を開催いたします。さまざまなパートナーとのコラボレーションの紹介他、日本でよく知られる「ダダ」(円谷プロダクション)との連携についても、発表いたします。

- 日時:** 2016年5月19日(木) 午後2時～午後4時 (受付1時30分～)
場所: 駐日スイス大使公邸 (〒106-8589 東京都港区南麻布5-9-12)
内容: 「ダダイズム 100 周年」の解説および夏季プログラムの解説、「ダダ」の登場。
連絡先: 参加ご希望の場合は、
- 1) 貴社名、
 - 2) 貴社媒体
 - 3) ご所属、
 - 4) 芳名(お越いただく方全員のお名前と人数
 - 5) ご住所
 - 6) お電話番号、ファックス番号
 - 7) メールアドレス
 - 8) 撮影希望の有無(VTRとスチールのいずれかをご明記ください)
 - 9) 情報露出予定日時(可能な範囲でご記入ください)

以上を明記の上、5月18日(水) 正午までに、以下担当者宛、ご一報ください。
在日スイス大使館 広報官 柄林直子 tok.culture@eda.admin.ch

* 会場の都合上、事前登録なしの方は、当日ご入場いただく事ができません。
必ず、ご参加予定の方全員のお名前をご明記ください。

パートナー:

後援: 在日フランス大使館、ドイツ連邦共和国大使館、在日スイス大使館

協力: 円谷プロダクション

サポーター: カフェロイヤル(メインサポーター)、ビクトリノックス・ジャパン、Scrap Pages

フェスティバル開催会場:

スパイラル/株式会社ワコールアートセンター、スーパー・デラックス、早稲田大学 會津八一記念博物館、東京ドイツ文化センター、イメージフォーラム、ドミューン、あいちトリエンナーレ 2016、筑波大学、多摩美術大学、トーキョーワンダーサイト、アンスティチュ・フランセ日本、ASAKUSA、The Container、代官山「晴れたら空に豆まいて」、国立新美術館アートセンターライブラリー、DUST BUNNY、スタジオ 35 分、倉敷芸術科学大学、他。

背景:

<ダダ 100 周年フェスティバルの目的>

1. ダダの発想を、今日の日本のアートシーンに伝えると同時に、日本の一般の方々にもダダを身近に感じていただく。
2. 歴史的な活動のみならず、本分野における今日の活動、また、日本が担ったダダを紹介する。
3. 周年はすべての文化機関およびアートスペースにオープンにしており、これを機会にアーティストが集う事およびダダをテーマにしたイベントのコラボレーションを促す。

<ダダイズムとは>

ダダは、ヨーロッパの移民や亡命者によって、1916年に生み出されました。最初の「ダダ」には、トリスタン・ツァラ、ハンス・アルプ、フーゴー・バル、エミー・ヘニングス、マルセル・ヤンコ、ゾフィー・トイバー、リヒャルト・ヒュルゼンベックなどが名を連ねています。ダダは、まさにアヴァンギャルドの先端をいき、その後のアート・ムーブメントとなり今日のアーティストや作家、デザイナー達に影響を与え続けている、シュールレアリズム、ポップアート、フウクサス、バウハウス、メールアート／パンクの誕生に大きく貢献しました。

<日本におけるダダイズム>

1923年7月、村山知義、柳瀬正夢を含む5名により、日本のダダ運動の先駆「マヴォ」が生まれます。そのほか、辻潤、吉行エイスケ、高橋新吉、北園克衛も日本のダダ運動の中心的存在となっていきます。

<ウルトラ怪獣・ダダとの関わりについて>

ウルトラ怪獣の中でもひと際異色の魅力を放つ「三面怪人ダダ」。まさにダダイズムを語源として名づけられたこのキャラクターは、「ひとつの頭部に3つの顔が存在する」というキュビズム的な特徴と、視覚に強烈に訴えるオブ・アートのような模様を備えています。デザインを担当した成田亨、造形を担当した高山良策ともに本業は芸術家。彼らはまさにダダイズムから脈々と連なる美術表現の延長として、ダダを生み出したといえます。

本件に関する問い合わせ:

在日スイス大使館 広報官 栃林直子

Tel. 03-5449-8410 tok.culture@eda.admin.ch

以上